

BUSINESS REPORT

第49期 上半期ご報告書

2024年7月1日 ▶ 2024年12月31日

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当中間連結会計期間（2024年7月1日～2024年12月31日）における日本経済は個人消費の回復やインバウンド需要の増加等もあり景気は緩やかに回復傾向にあります。しかし、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、急激な円安進行による物価高など依然として先行き不透明な状況が続きました。

「とる うる つくる 全部、SANKO」をスローガンに掲げ、水産6次産業化を成長基盤とする事業構造転換を推進する当社グループを取り巻く経営環境としても、コロナ禍での行動制限の撤廃に伴う経済・社会活動の正常化による人流の回復や個人消費の持ち直しが下支えとなり、外食事業においては需要の高まりが見られました。一方で少子高齢化に伴う労働人口減少による採用費及び人件費の増加、原材料費や光熱費、物流費、資材コストの上昇などが事業コストを押し上げる要因となり、迅速な対応が求められる状況が続いております。

水産事業においては、漁業者の生活の安定と向上ならびにお客様満足の両立を目的として漁業者から漁獲、魚種、相場に関わらず全量買取りを行う「SANKO船団」と称した取り組みを2023年9月より開始し、直営店舗に多段階流通を経ずに卸す試みを始め1年が経過いたしました。船団は2024年12月末日時点で自社船含み計4隻（月間漁獲高目標値3t）となり、お客様からも好評を得ているため今後も取り組みの輪を広げ、PDCAサイクルを回し、持続的な仕組みづくりに取り組んでまいります。

水産流通カテゴリーに属するグループ会社の状況として、豊洲市場の大卸である総合食

品株式会社は当社グループ傘下に入ったことによるシナジー効果と新たに強化している海外輸出等の効果もあり、売上高が回復傾向となりました。浜松市場の仲卸である株式会社SANKO海商においては「仲卸からの脱却」を経営方針に掲げ、強みであるマグロ加工と商品開発力を活かして「まぐろ餃子」「まぐろメンチ」などの新商品を投入するなど、水産加工メーカーとして利益体質への転換を進めております。また、2024年7月に千葉市地方卸売市場の仲卸である株式会社津田食品（千葉県千葉市）と資本業務提携契約を締結し、沼津・下田・浜松・豊洲の水産商品を中心とした既存の調達リソース及び各所飲食店・小売店の販路に、同社が持つ千葉エリア他の販路・物流機能が加わることで水産資源の付加価値を高める加工・流通部門の強化が進みました。

飲食事業においては2024年10月、業績回復の著しい「アカマル屋」の累計15店舗目となる小岩店（東京都江戸川区）が新規出店。「アカマル屋」は投資効率の高いブランドであるため引き続きブランドの磨き上げを行い、商圈及び立地条件を見極めた上で積極的に出店してまいります。さらに、「アカマル屋鮮魚店」に続く当社グループの強みを最大活用する新業態として、2024年8月に産地～加工～流通～販売までを自社で一貫して行うマグロ専門店「マグロ＊リスペクト」（埼玉県さいたま市）を、9月に“健康的で美味しい食と出会う”をコンセプトに自社船や提携船団から直送する新鮮な魚と産地直送の野菜を使用した定食や酒の肴を提供する「魚と野菜と土鍋ごはん 吉今」（東京都新宿区）を新規出店いたしました。

2023年12月より大型商業施設内フードコート等の飲食店9店舗を承継・運営する東海エリ

アでは、水産6次産業化による独自の強みを活かした商品構成へ変更し全店の事業モデルチェンジを行いました。新メニューでは提携船団や産地市場をフル活用し低利用魚や未利用魚の価値を最大化。さらに、3D凍結機をはじめとする最新の加工設備を駆使した沼津加工により鮮度を維持したまま提供できるため、店舗の作業効率も大幅に向上いたしました。

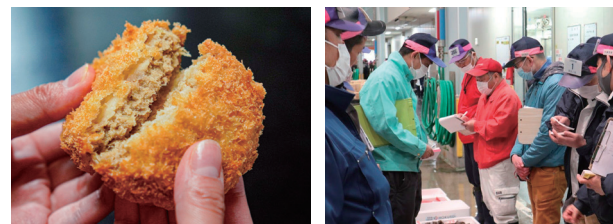
官公庁等を中心とする食堂施設の運営受託事業は、農林水産省内の職員食堂「あふ食堂」を中心に官公庁食堂群を活用し、全国自治体・各種団体と連携したイベント開催に取り組み、食堂運営受託の枠を超えた産地活性化への挑戦と食堂利用のお客様満足を官民一体で両立させる取り組みを推進いたしました。運営受託部門ではこのノウハウを活用し、2024年9月に食のマーケティングやプロモーションの企画・運営等を行う株式会社アップクオリティと協働し、日本の1次産業を発信する場として産地直送食材を使用したメニューを提供するレストラン「新宿三丁目テラス」（東京都新宿区）の新規出店へと発展させました。

上記に伴い、当中間連結会計期間末における店舗数は直営店57店舗（うち運営受託店12店舗）、フランチャイズ店（運営委託店舗含む）は海外（香港）2店舗、国内2店舗で計4店舗となりました。こうした取り組みの結果、飲食事業として、コロナ禍の影響が漸進的に薄れた2023年以降、緩やかに売上が回復し、安定的な黒字計上が続いております。当社の経営課題は、コロナ禍において戦略的に撤退した飲食店舗の売上減少を補うことであり、水産サプライチェーンを構築し、これを最大限に活用した店舗展開の実現により業績の回復に寄与すると認識しております。

第49期 上半期の主な取り組み

Main Initiatives in the 49th Term

1 水産事業の展開



「とる、うる、つくる」すべてを自社で賄う水産6次産業化一気通貫型のビジネスモデルは、完成の段階に入りました。水産流通カテゴリーに属する豊洲市場の総合食品株式会社（100%子会社）は、当社グループに参加後、順調に売上を回復して昨期コロナ前の売上高を超え、今期も前期を大きく超える成長を続け、通期での黒字化が見えるところまできました。浜松のSANKO海商もマグロの加工メーカーへと事業を転換し、収益体質の改善を急ピッチで進めています。

3 産地活性化に取り組む運営受託事業



農林水産省内の職員食堂「あふ食堂」をはじめとした官公庁食堂群では、「産地活性化プラットフォーマー」として全国自治体・各種団体と全国の郷土料理や食材をテーマにしたイベント開催し、全国産地の食材を消費者へアピール。さまざまな産地との取り組みの経験値を活用し、2024年9月には産地直送食材を使用したメニューの提供と産地の魅力を発信するテラスレストラン「新宿三丁目テラス」を誕生させました。

2 アカマル屋の続伸・新業態の誕生



コロナ禍以降のお客様ニーズにマッチするブランドとして成長を続ける「アカマル屋」では、2024年10月に累計15店舗目となる小岩店を、また、当社グループの強みを最大活用した新業態として、2024年8月に産地～加工～流通～販売までを自社で一貫して行う「マグロ＊リスペクト」を、9月には自社船等の漁船直送の魚と産地直送の野菜を使用した定食や酒の肴を提供する「魚と野菜と土鍋ごはん 吉今」を新規出店いたしました。

4 東海エリア9店舗の事業モデルチェンジ



2023年12月より大型商業施設内フードコート等の飲食店を承継し運営を開始した東海エリア9店舗では、ひつまぶしスタイルで魚介を楽しむ「まぶし丼」や鮮度抜群の海鮮丼、SANKO海商が素材選びからこだわり製品開発をした「まぐろメンチ」など、水産6次産業化による独自の強みを活かしたメニューへリニューアル。魚介をふんだんに使用した多彩なメニューを取り揃え、お客様満足度を追求してまいります。

財務ハイライトFinancial Highlights

(単位:百万円)

	'24/中間期	'25/中間期
売上高	4,416	4,631
営業損失(△)	△308	△345
経常損失(△)	△308	△314
当期純損失(△)	△325	△334
純資産	500	258
総資産	2,608	2,568

ブランド紹介

Brand Introduction

肉問屋直送

焼肉万里

手切りにこだわった正直な焼肉屋さん
がコンセプト。肉問屋が厳選した肉を
直送で取り寄せ、新鮮な状態で提供。
「お客様の為に手間を惜しまない」
これが万里のこだわりです。

バスタ専門店

パスタMama

1996年新宿にバスタ専門店として
創業。レトロな雰囲気店内でリーズ
ナブルに定番・和風・創作など多彩な
パスタをお楽しみいただけます。細麺
を茹で上げているので、お待たせせず
に直ぐにご提供できるのも強みです。

魚屋

2024年2月1日
OPENの「豊洲
千客万来」の豊
洲場外江戸前市
場内に「魚をより
身近に食べてい
ただける店舗」と
して新業態で出店
いたしました。

魚食離れ阻止に挑戦！

サカナタベタイ

魚食離れ阻止に挑戦！自分たちで
獲った魚や目利きした水産商品、当
社料理人監修のサカナ惣菜で飲食と
水産事業の強みを最大限活用した鮮
魚店です。

アカマル屋

「笑顔と心遣いの大衆酒場」をコンセ
プトに、「もつ煮込み」「炭火串焼き」
「出汁煮込みおでん」を中心とした肴
と美味しいお酒が勢ぞろい。地元の皆
様に愛される温かいお店です。

まるがまる

東京・高田馬場「まるがまる」は、沼津
港から毎日届く旬な鮮魚や珍しい魚を
職人が美味しい料理に仕立て、提供
する寿司ブランドです。

きんぐら酒場

金の蔵

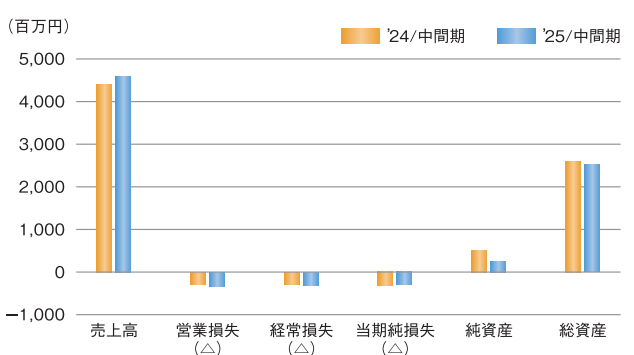
若年層からご
年配、お勤め帰
りやご家族のだ
んらんなど、幅
広いお客様の
ニーズにお応えするため、味付けやボ
リュームにこだわりつつ、沼津・浜松の
鮮魚も取り入れたメニューをお求めや
すい価格で提供し、気軽に何度でも
ご利用いただける居酒屋です。

東海エリア飲食店

市場直送の新鮮な魚を使った海鮮丼
や、ボリューム満点の三河一色産鰻
などを「より安くより美味しく!」をモッ
トーにお客様に提供しており、東海エ
リアを中心に多くのお客様に愛される
お店を運営しております。

吉今

鮮度の高い魚の本当
の美味しさを味わっ
ていただけます。ご来店
いただいた方にとって、
美味しい食で明日への
活力を養っていただき、
今日が吉(良き)日とな
りますよう、吉今の名を
店名といたしました。



鮮魚直送 大衆酒場

アカマル屋 鮮魚店

沼津港から配送される、産地直送鮮
魚、生本まぐろ、活き車えびなど駿河
湾沼津港ブランドの魚を中心に、鮮
度の高い魚を提供する魚屋さんです。
併設の大衆酒場(アカマル屋)ではお
酒と一緒に鮮魚料理が楽しめます。

酒場

沼津や浜松から漁
港直送の魚介類
を楽しめるお店で
す。丁寧な店内仕
込みにこだわり、
毎日漁港から届く
新鮮な鮮魚を「お
すすめ商品」として
提供いたします。

居酒屋

東京チカラめし

「肉は焼くとうまい。」をコンセプトに、
FC出店、ライセンスビジネスに注力。
香港2店舗とライセンス出店を国内の
みならず海外へも進出中。

あふ食堂

農林水産省
内の職員食堂で
ある「あふ食
堂」を中心に官公庁の各施設におい
て7業態9店舗の運営を受託。全国産
地の郷土料理や食材をテーマにしたイ
ベント開催に取り組むことで、食堂運
営受託の枠を超えた、産地活性化へ
の挑戦を官民一体で両立させる取組
みを推進しております。

マグロ リスペクト

豊洲市場から厳選した新鮮なマグロ
を使用し、希少部位を贅沢に楽しむ焼
肉スタイルを提供しています。ミノやほ
ほ肉など、鮮度が命の食材を絶妙な
焼き加減で味わえるのが当店のこ
だわりです。

株主優待制度に関するお知らせ

2024年12月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様(翌年3月以降発送分)から、株主優待制度の内容を変更いたしました。「とる うる つくる 全部、SANKO」をスローガンに、水産6次産業化を目指す当社が、今後注力して取り組んでいく事業を株主の皆様にご知っていただくために、グループ子会社であるSANKO海商のオリジナル商品である「まぐろメンチ」及び「まぐろコロツケ」をラインナップいたしました。

なお、「東京チカラめし応援カレー」につきましては、これまで株主の皆様にご好評の声をいただいておりますが、原材料価格の高騰やフードロス対策(賞味期限と製造ロットの関係)等を総合的に勘案してご優待品のラインナップとして一時休止することといたしました。

詳しくは当社ウェブサイト内IRリリース「株主優待品決定のお知らせ(2024年12月末基準)」をご参照ください。

株主ご優待券と株主優待品について

当社では毎年12月31日及び6月30日現在の株主様及び実質株主様に対して、株主優待制度を年2回実施しております。
この度の優待制度においては、当社グループ店舗※1でお使いいただける「20%割引券」に加え、「天然南まぐろ 中トロ柵・赤身柵」、「金目鯛煮付け」をはじめとした水産物加工品を株式保有数に応じて贈呈いたします。

転居などによりご住所が変更となった株主様は、証券会社等にて住所変更の届け出が必要となります。郵便局への転居届けのみでは株主ご優待券及び株主優待の申込方法に係るご案内をお届けできない可能性がございます。必ず証券会社等にてお届けをお願いいたします。

※1 株主ご優待券ご利用可能店舗に記載のない店舗では、ご利用いただけません。

株主ご優待品の申込方法、申込期日及び発送時期

各基準日の当社株主名簿に記載または記録された株主様へ、同年9月下旬及び翌年3月下旬に、株主ご優待券及び「株主優待の申込方法に係るご案内(株主ご優待品のごあんない)」を送付させていただきます。

なお、要冷蔵または要冷凍食材がラインナップされておりますことから、6ヶ月の申込期日を設定させていただきます。申込期日を過ぎた場合、ご対応いたしかねますので、早めのお申し込みをお願いいたします。具体的なお申し込み方法については「株主優待の申込方法に係るご案内(株主ご優待品のごあんない)」をご参照ください。

6月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様

株主ご優待券及び「株主ご優待品のごあんない」の発送時期:同年9月
ご優待品の申込期日:翌年3月末
ご優待品の発送時期:別途、ご案内をご参照ください。

12月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様

株主ご優待券及び「株主ご優待品のごあんない」の発送時期:翌年3月
ご優待品の申込期日:翌年9月末
ご優待品の発送時期:別途、ご案内をご参照ください。

※ 株主ご優待品のお申し込みは、原則、当社株主様専用サイトのお申し込みフォームからのみとなります。インターネット環境がない、または諸事情によりインターネットが使えないなどの理由でお申し込みができない場合、個別のご対応をできかねますのでご了承ください。

会社概要	社 名	株式会社SANKO MARKETING FOODS (英文名:SANKO MARKETING FOODS CO.,LTD.)	
	本 社	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場一丁目28番10号	
	本 店	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目10番14号	
	支 店	〒410-0843 静岡県沼津市蓼原町45番地の2	
	事業内容	飲食店の経営、水産業	
役員	創 業	1975年9月	設 立 1977年4月
	資本金	141百万円	
	代表者	代表取締役社長 長澤成博	
	従業員数	正社員207名(2024年12月31日現在)	
	取引銀行	三井住友銀行、横浜銀行	

役員	代表取締役社長	長澤 成博	常勤監査役	滝澤 正樹
	取締役会長	平林 隆広	監査役	三村 藤明
	専務取締役	富川 健太郎 土屋 隆也	監査役	山下 貴
	取締役	秋田 二郎	注)河野恵美氏、田中研次氏は社外取締役であります。また、滝澤正樹氏、三村藤明氏及び山下貴氏は、社外監査役であります。	
	取締役	河野 恵美 田中 研次		

株式の状況	発行可能株式総数	43,072,000株	株主数	23,678名
	発行済株式の総数	29,362,949株		

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
平林 隆広	3,506,800	11.94
株式会社TLF	2,519,700	8.58
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	1,684,000	5.74
有限会社神田コンサルティング	1,581,900	5.39
平林 実人	1,048,000	3.57
アサヒビール株式会社	623,500	2.12
株式会社SBI証券	581,997	1.98
岩元 重成	280,000	0.95
山田 真一	107,900	0.37
UBS AG SINGAPORE	100,000	0.34

株主メモ	
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日) なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告方法	電子公告。ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に記載します。
公告掲載URL	https://www.sankofoods.com/
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120(782)031(フリーダイヤル)
上場取引所	東京証券取引所
証券・銘柄コード	2762